

授業科目 (科目ID)	情報科学Ⅲ		担当教員	横野 裕行		
	23p401		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	道内・外の病院で理学療法士として8年勤務	
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	臨床実習や就職先での活用を目標に、コンピュータを活用してのプレゼンテーションができる。国家試験対策システムを利用して学習し、国家試験問題の傾向をつかみ、正答率を上げる。					
到達目標	国家試験問題の演習では正答率を前期は70%、後期は90%を目標とする。					
テキスト・参考図書等	必修ポイント専門基礎分野基礎医学 PT・OT国家試験共通問題 頻出キーワード1800					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	提出物、演習課題の内容により評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	100%				
	その他	%				
履修上の留意事項	Power Pointを用いた発表資料の作成は、卒業後、学会発表などの際にも必要となるため、積極的に取り組むこと。国家試験対策については繰り返し問題を解くことも重要であり、その場限りせず必ず復習すること。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	プレゼンテーションソフトの活用法	Power Pointでのプレゼンテーションの仕方について確認し、卒業研究の発表(理学療法課題研究Ⅱ)につなげる。			
	2	プレゼンテーションソフトの活用法	Power Pointでのプレゼンテーションの仕方について確認し、卒業研究の発表(理学療法課題研究Ⅱ)につなげる。			
	3	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	4	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	5	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	6	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	7	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	8	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	9	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	10	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	11	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	12	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	13	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
	14	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。			
15	国家試験対策	「資格試験システム」を活用して国家試験の問題演習を実施する。				

2023年度

専門学校北海道リハビリテーション大学校

理学療法学科

授業科目 (科目ID)	救急救命学 23p402		担当教員 (実務経験)	三上 剛人 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 吉田学園医療歯科専門学校・救急救命学科にて救急法を教育指導。看護師として救命救急センター勤務経験あり。		
対象年次・学期	4年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	臨床場面でのリスク管理の一環として、救急法について知識・理解を深めると共に、基本的手技も併せて経験する。					
到達目標	救急法について理解する。					
テキスト・参考図書等	配布資料					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	定期試験により評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の留意事項	緊急時対応は突然必要になります。いざという場面で必要になる知識と技術であることを念頭に、授業を受けてください。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	救急法概論	医師法と一般応急手当と基礎知識			
	2	救急法概論	ビデオ、スライド使用			
	3	各パートについて	出血、止血法、傷への対応			
	4	各パートについて	三角巾の扱い方			
	5	各パートについて	凍傷、火傷、咬傷、気道の確保			
	6	各パートについて	頭のケガ、閃電、電撃			
	7	各パートについて	蘇生法(人工呼吸)			
	8	各パートについて	蘇生法(心マッサージ)			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						

2023年度

専門学校北海道リハビリテーション大学

理学療法学科

授業科目 (科目ID)	健康増進科学 23p403		担当教員 (実務経験)	武田 祐貴 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内脳神経外科病院にて理学療法士として12年間勤務		
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	健康増進に必要な運動・身体活動を含む様々な生活習慣が健康にどのような影響を及ぼすかを科学的知見に基づき学ぶ。					
到達目標	適切な運動・栄養・休養を日常生活に効果的または安全に取り入れる方法について理解する。					
テキスト・ 参考図書等	予防理学療法学要論					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	定期試験により評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	健康寿命の延長は社会の要請であり、理学療法士はこれに応えていく役割がある。そのために必要な栄養学の視点と予防的取り組みの視点を得ること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	栄養学からみた予防理学療法学	オリエンテーション 日本人の食事摂取基準、エネルギー・栄養素の指標			
	2	栄養学からみた予防理学療法学	高齢者におけるたんぱく質摂取の重要性			
	3	栄養学からみた予防理学療法学	食事の栄養アセスメント			
	4	栄養学からみた予防理学療法学	食事バランスガイド			
	5	予防理学療法学概説	定義、領域、制度、研究法について			
	6	予防理学療法学のための理解	スポーツ、ヘルスコミュニケーション、学童期の予防			
	7	予防理学療法学の実際	理学療法士の役割、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、廃用症候群の予防			
	8	予防理学療法学の実際	認知症の予防、労働災害(腰痛)の予防、再発予防、メンタルヘルス、コミュニティプロモーションのマネジメント			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						

授業科目 (科目ID)	理学療法課題研究 I 23p404		担当教員 (実務経験)	吉田 香織 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の総合病院に理学療法士として10年以上勤務		
対象年次・学期	4年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	3年次に研究法として学習してきたものを、具体的に興味のあるテーマに基づき、各自論文を作成する。					
到達目標	課題を解決するために研究計画を立て研究を実施できること、論文の形式や規定を理解して論文を作成できることが目標となる。					
テキスト・ 参考図書等	特に指定はしない					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	論文の発表、内容等から総合的に評価する。			
	レポート	50%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	50%				
履修上の 留意事項	論文の作成は卒業後も必要となる。また考え方を身につけることも重要である。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	2	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	3	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	4	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	5	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	6	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	7	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	8	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	9	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	10	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	11	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	12	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	13	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
	14	論文作成	各自テーマに基づき論文作成			
15	論文作成	各自テーマに基づき論文作成				

授業科目 (科目ID)	理学療法課題研究 I 23p404	担当教員 (実務経験)	浜本 浩一 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内外の総合病院等で理学療法士として16年間勤務
対象年次・学期	4年・前期	担当教員	竹中 謙将
授業形態	演習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で10年、老人保健施設で5年、理学療法士として勤務
		担当教員	江戸 香苗
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内整形外科病院にて理学療法士として10年間勤務
		担当教員	武田 祐貴
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内脳神経外科病院にて理学療法士として12年間勤務
		担当教員	元木 純
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科病院にて理学療法士として18年間勤務
		担当教員	横野 裕行
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内・外の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員	吉田 智子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科で理学療法士として10年以上勤務
		担当教員	山内 真帆
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員	小野 直也
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内回復期病院にて理学療法士として5年勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	理学療法課題研究Ⅱ 23p405		担当教員 (実務経験)	吉田 香織 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の総合病院に理学療法士として10年以上勤務		
対象年次・学期	4年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	自ら設定したテーマに基づき作成した論文を、わかりやすい形でパワーポイントにまとめ、学会発表を想定して発表を行う。					
到達目標	聞き手にわかりやすい発表資料が作成でき、プレゼンテーションを行えること、また根拠を持った質疑応答ができることを目標とする					
テキスト・ 参考図書等	特に指定はしない					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	論文の発表、内容等から総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	50%				
	その他	50%				
履修上の 留意事項	卒業後も学会発表などの機会があり、プレゼンテーション方法を工夫し、聞き手が興味をもつような発表を目指して取り組むこと。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	発表準備	論文に基づきパワーポイントを作成し、発表準備を行う			
	2	発表準備	論文に基づきパワーポイントを作成し、発表準備を行う			
	3	発表準備	論文に基づきパワーポイントを作成し、発表準備を行う			
	4	発表準備	論文に基づきパワーポイントを作成し、発表準備を行う			
	5	発表準備	論文に基づきパワーポイントを作成し、発表準備を行う			
	6	発表準備	論文に基づきパワーポイントを作成し、発表準備を行う			
	7	発表準備	論文に基づきパワーポイントを作成し、発表準備を行う			
	8	卒業研究発表	発表			
	9	卒業研究発表	発表			
	10	卒業研究発表	発表			
	11	卒業研究発表	発表			
	12	卒業研究発表	発表			
	13	卒業研究発表	発表			
	14	卒業研究発表	発表			
15	卒業研究発表	発表				

授業科目 (科目ID)	理学療法課題研究Ⅱ 23p405	担当教員 (実務経験)	浜本 浩一 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内外の総合病院等で理学療法士として16年間勤務
対象年次・学期	4年・前期	担当教員 (実務経験)	竹中 謙将 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で10年、老人保健施設で5年、理学療法士として勤務
授業形態	演習	担当教員 (実務経験)	江戸 香苗 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内整形外科病院にて理学療法士として10年間勤務
		担当教員 (実務経験)	武田 祐貴 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内脳神経外科病院にて理学療法士として12年間勤務
		担当教員 (実務経験)	元木 純 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科病院にて理学療法士として18年間勤務
		担当教員 (実務経験)	横野 裕行 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内・外の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員 (実務経験)	吉田 智子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科で理学療法士として10年以上勤務
		担当教員 (実務経験)	山内 真帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員 (実務経験)	小野 直也 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内回復期病院にて理学療法士として5年勤務
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	理学療法管理学 23p406		担当教員 (実務経験)	福嶋 篤 理学療法士として市内病院、訪問看護ステーションに勤務。 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	管理の理解と理学療法士の職場運営について学ぶ。					
到達目標	管理、管理的活動について理解し、理学療法業務における管理について説明できる。					
テキスト・ 参考図書等	理学療法管理学					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	定期試験により評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	理学療法士として職場に勤務してから活用する知識・技術について学習するので、どのように実践するかを意識して受講してほしい。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	はじめに 管理の意義	オリエンテーション、管理の意義とは			
	2	管理の目的	管理の目的について学習する。			
	3	組織管理	組織構成について学ぶ。			
	4	職業倫理	医療関連倫理について学ぶ。			
	5	理学療法の法的根拠	各種法的根拠について学ぶ。			
	6	理学療法の法的根拠	各種法的根拠について学ぶ。			
	7	業務管理	理学療法士の業務管理について学習する。			
	8	職場管理とチーム医療	職場管理と関連職種とのチーム医療について学習する。			
	9	理学療法管理(指示・治療と記録)	理学療法における指示の意味と診療記録について学ぶ。			
	10	理学療法管理(指示・治療と記録)	理学療法教育について学ぶ。			
	11	情報管理(1)	リスクマネジメントについて学ぶ。			
	12	情報管理(2)	個人情報保護法について学ぶ。			
	13	情報管理(3)	EBMの原則、目的、手法について学ぶ。			
	14	医療報酬	医療報酬について学習する。			
15	介護報酬	介護報酬について学習する。				

授業科目 (科目ID)	徒手関節治療学 23p407		担当教員 (実務経験)	橋田 浩 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道外の病院にて理学療法士として10年以上勤務	
対象年次・学期	4年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	マニュアルセラピー(徒手療法)の意義について学び、骨運動と関節運動の関係を理解する。運動機能障害が何によるか系統的に説明できるよう、モビライゼーションの基本的評価・治療手技について学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 理学療法におけるマニュアルセラピー(徒手療法)の意義について説明できる。 骨運動(生理的運動)と関節運動(副運動)の関係を理解し、評価・治療技術に適用できる。 運動機能障害が、関節・筋あるいは神経の滑走障害に基づくものか、問題点を系統的に説明できる。 関節および関節の動きを触知でき、モビライゼーションの基本的評価・治療手技を施行できる。 				
テキスト・参考図書等	整形徒手理学療法 参考図書: 上肢のマニュアルセラピー、脊柱・骨盤のマニュアルセラピー 改訂第2版、脊椎の分節的安定性のための運動療法 第2版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験により評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	演習日には演習ができる服装で参加すること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	徒手療法の意義	理学療法における徒手療法の意義		
	2	歴史的背景	徒手療法の歴史的背景と諸家の治療概念		
	3	骨運動と副運動	骨運動と関節運動(副運動)および法則		
	4	用語の定義・解釈	徒手療法における専門用語の定義と解釈		
	5	関節モビライゼーション	関節モビライゼーションの治療原理		
	6	効果、適用・禁忌	関節モビライゼーションの効果と適用・禁忌		
	7	上肢関節手技	上肢関節に対する基本的モビライゼーション手技の実習		
	8	下肢関節手技	下肢関節に対する基本的モビライゼーション手技の実習		
	9	脊柱の運動学	頸椎・胸椎・腰椎の関節運動学		
	10	仙腸関節の動きと障害	仙腸関節の形態、動きおよび障害		
	11	ニューロダイナミックス	末梢神経の滑走障害の評価と治療法		
	12	腰椎・体幹のスタビリティ	腰椎・体幹のスタビリティの理論的背景とエクササイズへの応用		
	13	脊柱・骨盤の触診	頸椎・胸椎・腰椎関節および骨盤について触診の実習		
	14	脊椎関節手技	頸椎・胸椎関節に対するモビライゼーション手技の実習		
15	仙腸関節手技	仙腸関節の障害の評価と基本的治療手技			

授業科目 (科目ID)	理学療法特論 23p408	担当教員 (実務経験)	元木 純 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科病院にて理学療法士として18年間勤務		
対象年次・学期	4年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	23	時間数	45時間
授業目的	理学療法の臨床現場で用いられている治療法や最新のトピックスなどを学ぶ。				
到達目標	理学療法の臨床現場で用いられている治療法を体験する。				
テキスト・ 参考図書等	配布資料				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	提出物により評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	100%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	実技のしやすい服装で臨むこと。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	テーピングの概念	テーピングの概念について学習する。		
	2	テーピング実習	足関節・膝関節へのテーピング方法を学習する。、肉離れの処置について学習する。		
	3	テーピング実習	足関節・膝関節へのテーピング方法を学習する。、肉離れの処置について学習する。		
	4	テーピング実習	足関節・膝関節へのテーピング方法を学習する。、肉離れの処置について学習する。		
	5	テーピング実習	足関節・膝関節へのテーピング方法を学習する。、肉離れの処置について学習する。		
	6	テーピング実習	足関節・膝関節へのテーピング方法を学習する。、肉離れの処置について学習する。		
	7	レッドコードの概念	レッドコードの理論について学習する。		
	8	レッドコードの実習	レッドコードの方法について学習する。		
	9	レッドコードの実習	レッドコードの方法について学習する。		
	10	レッドコードの実習	レッドコードの方法について学習する。		
	11	PNF 総論・基本手技	PNFの理論と促進のパターンを理解し、基本的な手技を実習する。		
	12	PNF 総論・基本手技	PNFの理論と促進のパターンを理解し、基本的な手技を実習する。		
	13	ボバースの概念・基本手技	ボバース概念と促進の基本的な手技を実習する。		
	14	ボバースの概念・基本手技	ボバース概念と促進の基本的な手技を実習する。		
15	ボバースの概念・基本手技	ボバース概念と促進の基本的な手技を実習する。			

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	16	ボバースの概念・基本手技	ボバース概念と促進の基本的な手技を実習する。
	17	リンパマッサージ	リンパの流れを理解し、基本的な手技を実習する。
	18	リンパマッサージ	レッドコードの理論について学習する。
	19	リンパマッサージ	レッドコードの方法について学習する。
	20	ウィメンズ・メンズヘルス	概要と基本手技を学ぶ。
	21	ウィメンズ・メンズヘルス	概要と基本手技を学ぶ。
	22	喀痰等の吸引	喀痰等の吸引方法を理解し、基本的な手技を実習する。
	23	喀痰等の吸引	喀痰等の吸引方法を理解し、基本的な手技を実習する。

授業科目 (科目ID)	理学療法演習 I 23p409		担当教員 (実務経験)	飯島 治之 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医学博士を有し解剖学講師として10年以上従事		
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	45	時間数	90時間
授業目的	国家試験全員合格を目指すため、共通分野について学習する。					
到達目標	[前期]解剖学・生理学・運動学を中心に学習し理解を深め、第1回卒業試験でより高い点数を獲得できる。 [後期]模擬試験で学習の定着状況を確認しながら、国家試験合格を目指す。					
テキスト・ 参考図書等	必修ポイント専門基礎分野基礎医学 PT・OT国家試験共通問題 頻出キーワード1800					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	試験にて評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	国家試験に直接出題される分野であり、基礎ともなる内容であるため、繰り返し何度も復習して知識を定着させること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション	国家試験までの流れについて説明する。			
	2	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	3	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	4	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	5	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	6	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	7	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	8	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	9	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	10	解剖学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	11	生理学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			
	12	生理学	模試など			
	13	生理学				
	14	生理学				
15	生理学					

	回数	履修主題	履修内容
	履修主題・履修内容	16	生理学
17		運動学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
18		生理学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
19		運動学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
20		運動学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
21		運動学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
22		運動学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
23		臨床医学総論	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
24		臨床医学総論	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
25		内部障害学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
26		内部障害学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
27		内部障害学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
28		内部障害学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
29		骨関節障害	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
30		骨関節障害	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
31		骨関節障害	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
32		神経筋疾患	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
33		人間発達・発達障害	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
34		人間発達・発達障害	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
35		精神医学・心理学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
36		精神医学・心理学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
37		精神医学・心理学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
38		精神医学・心理学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
39		精神医学・心理学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
40		リハビリテーション概論	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
41	その他	模試など	
42	その他	模試など	
43	その他	模試など	
44	その他	模試など	
45	その他	模試など	

授業科目 (科目ID)	理学療法演習 I 23p409	担当教員 (実務経験)	浜本 浩一 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内外の総合病院等で理学療法士として16年間勤務
対象年次・学期	4年・通年	担当教員 (実務経験)	吉田 香織 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の総合病院に理学療法士として10年以上勤務
授業形態	演習	担当教員 (実務経験)	竹中 謙将 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で10年、老人保健施設で5年、理学療法士として勤務
		担当教員 (実務経験)	江戸 香苗 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内整形外科病院にて理学療法士として10年間勤務
		担当教員 (実務経験)	武田 祐貴 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内脳神経外科病院にて理学療法士として12年間勤務
		担当教員 (実務経験)	元木 純 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科病院にて理学療法士として18年間勤務
		担当教員 (実務経験)	横野 裕行 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内・外の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員 (実務経験)	吉田 智子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科で理学療法士として10年以上勤務
		担当教員 (実務経験)	山内 真帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員 (実務経験)	小野 直也 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内回復期病院にて理学療法士として5年勤務
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

専門学校北海道リハビリテーション大学校

理学療法学科

授業科目 (科目ID)	理学療法演習Ⅱ 23p410		担当教員 (実務経験)	横野 裕行 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内・外の病院で理学療法士として8年勤務	
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 3単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	45	時間数 90時間
授業目的	国家試験全員合格を目指すため、専門分野について学習する。				
到達目標	模擬試験で学習の定着状況を確認しながら、国家試験合格を目指す。				
テキスト・ 参考図書等	PT・OT国家試験共通問題 頻出キーワード1800 必修ポイント専門基礎分野基礎医学				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	演習課題の内容により評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	100%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	国家試験に直接出題される分野であり、基礎ともなる内容であるため、繰り返し何度も復習して知識を定着させること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	基礎理学療法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	2	基礎理学療法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	3	基礎理学療法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	4	基礎理学療法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	5	評価法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	6	評価法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	7	評価法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	8	評価法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	9	物理療法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	10	物理療法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	11	物理療法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	12	物理療法	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	13	義肢装具学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
	14	義肢装具学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。		
15	ADL	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	ADL	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	17	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	18	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	19	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	20	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	21	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	22	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	23	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	24	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	25	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	26	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	27	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	28	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	29	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	30	各領域の評価・治療	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	31	地域理学療法学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	32	地域理学療法学	過去問題を分析し、基礎項目を講義する。
	33	その他	模試など
	34	その他	模試など
	35	その他	模試など
	36	その他	模試など
	37	その他	模試など
	38	その他	模試など
	39	グループ学習	グループごとに、国家試験対策の学習を進めていく。
	40	ADL	グループごとに、国家試験対策の学習を進めていく。
41	各領域の評価・治療	グループごとに、国家試験対策の学習を進めていく。	
42	地域理学療法学	グループごとに、国家試験対策の学習を進めていく。	
43	その他	グループごとに、国家試験対策の学習を進めていく。	
44	グループ学習	グループごとに、国家試験対策の学習を進めていく。	
45	グループ学習	グループごとに、国家試験対策の学習を進めていく。	

授業科目 (科目ID)	理学療法演習Ⅱ 23p410	担当教員 (実務経験)	浜本 浩一 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内外の総合病院等で理学療法士として16年間勤務
対象年次・学期	4年・通年	担当教員	吉田 香織
授業形態	演習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の総合病院に理学療法士として10年以上勤務
		担当教員	竹中 謙将
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で10年、老人保健施設で5年、理学療法士として勤務
		担当教員	江戸 香苗
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内整形外科病院にて理学療法士として10年間勤務
		担当教員	武田 祐貴
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内脳神経外科病院にて理学療法士として12年間勤務
		担当教員	元木 純
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科病院にて理学療法士として18年間勤務
		担当教員	小野 直也
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内回復期病院にて理学療法士として5年勤務
		担当教員	吉田 智子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科で理学療法士として10年以上勤務
		担当教員	山内 真帆
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	地域理学療法学 23p411		担当教員 (実務経験)	岡田 しげひこ 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 病院・訪問等の地域リハ活動で理学療法士として30年以上勤務		
対象年次・学期	4年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	地域リハビリテーションについて学び、その中での理学療法士の役割を確認する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーションの意義について説明できる。 ・介護保険などの制度について説明できる。 					
テキスト・参考図書等	ビジュアルレクチャー地域理学療法学第3版 参考図書:標準理学療法学専門分野 地域理学療法学、地域リハビリテーション論、地域リハビリテーション原論					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	定期試験により評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の留意事項	対象者の生活を考えて理学療法をすすめるためには、地域リハビリテーションの考え及び社会制度の理解が必要である。本講義で学んだことを臨床応用できるようにすることを期待する。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	なぜ、地域理学療法を学ぶのか	地域リハビリテーションの概念・歴史・定義			
	2	地域理学療法の疑念・定義	地域理学療法の概念・定義			
	3	生活で役立つ理学療法士の条件	他の訪問系在宅支援サービスおよび通所系サービスと理学療法士の関わり			
	4	生活機能を評価する	生活機能を評価する			
	5	介護保険	介護保険開始の歴史的背景と制度概略、利用に至るまでの流れと制度の本質			
	6	地域理学療法の実践	介護3施設サービス、訪問リハビリテーションと理学療法			
	7	生活を支えるというものの理解	「生活を支える」というものの理解、(連携の重要性や他職種理解を含む)			
	8	包括支援システムと理学療法	地域包括ケアシステムと理学療法士			
	9	高齢者の姿勢とアプローチ方法について	高齢者の姿勢とアプローチ方法について			
	10	ダンボールによる簡易背シート作成・あらためて地域理学療法とは	ダンボールによる簡易背シート作成・あらためて地域理学療法とは			
	11	事例検討①	地域社会で生活する事例について①			
	12	事例検討②	地域社会で生活する事例について②			
	13	各種制度の申請と理学療法との関係について	身体障害者手帳をはじめとした各種制度申請に関する理学療法士の関わり			
	14	身体障害者手帳について	身体障害者手帳の申請にかかる理学療法の実務業務について			
15	地域理学療法のまとめ	各種制度やサービス内容などについて				

授業科目 (科目ID)	臨床実習Ⅲ 23p412	担当教員 (実務経験)	浜本 浩一 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内外の総合病院等で理学療法士として16年間勤務
対象年次・学期	4年・前期	担当教員	吉田 香織
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の総合病院に理学療法士として10年以上勤務
		担当教員 (実務経験)	竹中 謙将 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で10年、老人保健施設で5年、理学療法士として勤務
		担当教員 (実務経験)	武田 祐貴 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内脳神経外科病院にて理学療法士として12年間勤務
		担当教員 (実務経験)	元木 純 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科病院にて理学療法士として18年間勤務
		担当教員 (実務経験)	小野 直也 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内回復期病院にて理学療法士として5年勤務
		担当教員 (実務経験)	吉田 智子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科にて理学療法士として10年以上勤務
		担当教員 (実務経験)	山内 真帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員 (実務経験)	江戸 香苗 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内整形外科病院にて理学療法士として10年間勤務
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	臨床実習Ⅳ 23p413	担当教員 (実務経験)	浜本 浩一 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内外の総合病院等で理学療法士として16年間勤務
対象年次・学期	4年・後期	担当教員	吉田 香織
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の総合病院に理学療法士として10年以上勤務
		担当教員 (実務経験)	竹中 謙将 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院で10年、老人保健施設で5年、理学療法士として勤務
		担当教員 (実務経験)	武田 祐貴 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内脳神経外科病院にて理学療法士として12年間勤務
		担当教員 (実務経験)	元木 純 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科病院にて理学療法士として18年間勤務
		担当教員 (実務経験)	小野 直也 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内回復期病院にて理学療法士として5年勤務
		担当教員 (実務経験)	吉田 智子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内整形外科にて理学療法士として10年以上勤務
		担当教員 (実務経験)	山内 真帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内・外の病院で理学療法士として8年勤務
		担当教員 (実務経験)	江戸 香苗 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内整形外科病院にて理学療法士として10年間勤務
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>